

第 2 章 調査の方法

1 調査の名称

不登校や登校しぶりを示す児童生徒の学習や社会性に関する調査

2 調査の目的

この調査は、不登校の要因の一つとして推測される学習や社会性における困難とLDとの関連を探り、不登校の予防と援助にLDへの対応を生かす方法を見出すことを目的とします。

3 調査の方法

(1) 調査の内容

ア 調査

(ア) 不登校児童生徒数

平成10年度の4月から9月までの半年間で（平成10年9月30日現在）欠席日数15日以上
以上の児童生徒の数

(イ) 登校しぶりを示す児童生徒数

平成10年度の4月から9月までの半年間で（平成10年9月30日現在）遅刻日数または早退日数のいずれかが11日以上
の者

(ウ) (ア)または(イ)に該当した児童生徒の欠席・遅刻・早退日数

イ 調査

調査 に該当した各児童生徒の学習面や社会性におけるつまずきや困難の内容

言語（聞く・話す・読む・書く）

図形・数・日常生活での数に関する力等

実技教科（音楽・図工・体育）

社会性・行動（授業場面・クラスメートや教師との人間関係・生活習慣）

調査 の期間中の欠席日数過多のため調査 の回答が難しい場合は、調査 の備考欄を「調査
記入困難」とすることを求めました。

入院等による長期欠席が、明らかに「学校ぎらい」のためとは考えられない場合も、同じく備考欄にその旨の記入を求めました。
(巻末資料 調査用紙参照)

(2) 調査の対象

ア 学年 平成10年度 小学校 4学年～6学年

中学校 1学年～3学年

イ 学校

(ア) 小学校 82校

抽出条件 在籍生徒数が400名を超える小学校(平成10年5月1日学校基本数調査)

ただし、上記条件を満たす小学校がない北桑田教育局管内については100名を超える小学校、同じく2校しかない与謝教育局管内と1校しかない丹後教育局管内については、200名以上の小学

校としました。

(1) 中学校 52校

抽出条件 在籍生徒数が400名を超える中学校(平成10年5月1日学校基本数調査)

ただし、北桑田教育局管内2校は条件を満たしませんが、全教育局を網羅するため調査対象としました。

(3) 調査の時期

平成10年11月から12月

(4) 調査用紙の記入者

調査 教育相談担当者またはそれに代わる者

調査 学級担任またはそれに代わる者